

第2回カリキュラム・マネジメント研修

【テーマ】 令和2年度 後期公開授業週間を終えて[先生方の意見]

1. 公開授業で工夫されていた点【授業者・見学者】

- ・教員が説明する時間は短く、生徒の活動時間を長くする。
- ・スライドで映すことで、文字として認識しやすくなった。
- ・PPと板書を組み合わせることで、双方の効果を上げる。
- ・聞く時間と活動する時間のメリハリをつける。
- ・雰囲気づくりを大切にすることで、自由な発言をしやすい環境を整える。
- ・「学習ポートフォリオ」を用いて、自分で目標を決める。
- ・「本日の課題」を設定し、授業の最後の設問でその理解状況を確認する。
- ・「生徒は教員が考えている以上に難しいアプリを使うことができる」ことが分かった。
- ・PPを使ってテンポよく行うことで活動時間を確保する工夫をした。
- ・ゲーム形式を用いて、繰り返し演習のストレスを軽減し、主体的に取り組めるようにする。

2. 1を円滑に行うために準備(意識)してきたこと【授業者】

- ・生徒の輪の中に入り過ぎない(口を出し過ぎない)。
- ・時間の意見が言いやすい環境作り。
- ・ICT活用時にログインの手間を省くために、ログイン不要で画面を共有できるサイトを活用した。
- ・単元を超えたつながりを意識させる。
- ・PP作成の際、生徒の立場に立って考える。
- ・できるだけ板書に費やす時間を短くする。

3. 1・2を踏まえて、主体性をさらに伸ばすために有効と思われる手法

- ・「今月の目標」といったスモールステップを準備し、達成することで充実感を得る機会を増やす。
- ・Googleフォーム等のICTを活用して、学習ポートフォリオを学校で統一する。
- ・学んだことを活かす機会を設ける。
- ・体験活動を行う場合は、説明にかける時間を短く、活動時間を確保する。
- ・知識のインプットなしにアウトプットはできないので、そのバランスが重要。
- ・「今、何を」するかを明確にすることで、主体的に動けるように導く。
- ・生徒の感想や意見を整理・保管した上で、見返す機会を設ける(写真を撮って保管することも有効)。
- ・授業で使える有益な情報を教員間で共有する場が必要。
- ・ICTを活用して、口頭ではイメージしづらいことを動画や画像で示して生徒の理解度を高める。